

大会名 Competition	第71回秋田県高等学校総合体育大会 バスケットボール競技【女子決勝】			
No. M 3	Year	Month	Day	Time
	2025年	6 月	3 日	12 : 30
場 所 Place	CNAアリーナあきた			



秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

チーム A		チーム B
湯沢翔北		秋田中央
78		58
○		●
	23 1st 11 17 2nd 21 16 3rd 12 22 4th 14 OT	

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	鈴 木 葉 奈	CAP	11	3	1	0	1	4	×	奈 良 璃 音	CAP	0	0	0	0	0
5	/	中 田 歩 花		4	0	2	0	4	5	×	後 藤 凜 香		16	3	3	1	0
6	×	武 田 知 花		22	4	4	2	2	6		斉 藤 佳 乃		-	-	-	-	-
7	×	紀 本 心 菜		3	1	0	0	2	7		佐々木 杏 奈		-	-	-	-	-
8	×	近 藤 愛 莉		16	0	6	4	1	8	×	遠 藤 真 倅		20	0	9	2	2
9	/	名 和 真緒里		4	0	2	0	0	9	/	菊 地 萌 那		2	0	1	0	1
10	×	柿 崎 愛 泉		18	0	9	0	3	10	×	熊 谷 実 鞠		8	0	4	0	1
11	/	戸 堀 愛 花		0	0	0	0	0	11		野呂田 唄		-	-	-	-	-
12		須 田 緑		-	-	-	-	-	12		佐 藤 里 奈		-	-	-	-	-
13		戸 村 のどか		-	-	-	-	-	13		渡 辺 弥 親		-	-	-	-	-
14		堀 田 海 空		-	-	-	-	-	14		齋 藤 音 々		-	-	-	-	-
15		石 川 美 羽		-	-	-	-	-	15	/	小 林 春 陽		6	2	0	0	0
16		三 森 美 代		-	-	-	-	-	16	×	石 垣 夢凜愛		6	1	1	1	4
17	/	渡 部 一 彩		0	0	0	0	0	17		伊 藤 乃 愛		-	-	-	-	-
18		田 村 璃 子		-	-	-	-	-	18		岩 谷 倅		-	-	-	-	-
19		川 辺 桃 子		-	-	-	-	-	19		土 谷 愛 美		-	-	-	-	-
20		齊 藤 萌 愛		-	-	-	-	-	20		工 藤 星 来		-	-	-	-	-
21	/	宇佐美 友 彩		0	0	0	0	0									
コ-チ		樋 渡 真							コ-チ		門 間 義 範						
Aコ-チ		齋 藤 良 樹							Aコ-チ		鈴 木 華 音						
合 計				78	8	24	6	13	合 計				58	6	18	4	8

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

女子決勝は2連覇を狙う湯沢翔北と、2年ぶりの優勝を目指す秋田中央の対戦となった。両チームが決勝で顔を合わせるの4年連続である。

第1Q序盤、湯沢翔北は#8近藤、#10柿崎らがペイントエリアで優位に立つと、#7紀本、#6武田が連続して3ポイントを決めるなど、内外角バランスよく得点を重ねていく。秋田中央はマンツーマンとゾーンを織り交ぜたチェンジングディフェンスで湯沢翔北のペースを乱そうとするが、湯沢翔北は落ち着いて対応し、23-11と2桁リードを奪う。

第2Q、湯沢翔北は#10柿崎が開始1分で3ファウルとなりベンチに下がると、インサイドでアドバンテージを握れなくなり、得点が止まる。秋田中央は#5後藤の3ポイントが決まるとチーム全体が勢いづき、#8遠藤の鋭いドライブなどで得点を重ねる。残り4:30、秋田中央は#15小林のアシストから#5後藤が鮮やかなバックドアプレイを決めて25-25の同点に追いつく。一気に追い抜きたい秋田中央だったが、タイムアウトで落ち着きを取り戻した湯沢翔北はそこから#6武田が連続して3ポイントを決め、終了間際にはインバウンズプレイから#5中田がゴール下シュートを決めて40-32とリードを保って前半を終える。

第3Q、強度の上がった湯沢翔北のディフェンスに対し、秋田中央は思うようにシュートチャンスを作ることができず、ターンオーバーが目立つようになる。コートに戻った湯沢翔北#10柿崎がインサイドで存在感を発揮する中、秋田中央は#5後藤が負傷退場するというアクシデントに見舞われると、湯沢翔北が再びじわじわとリードを広げ、56-44とする。

第4Q、攻守の要を失った秋田中央は#8遠藤、#10熊谷らの1対1を起点に反撃するが、湯沢翔北はそれを上回るペースで中外から加点。湯沢翔北#6武田は切れ味鋭い1対1や高確率の3ポイントなど、このクォーターだけで11得点を挙げる活躍を見せる。攻守においてレベルの高さを見せた湯沢翔北が78-58と完勝、2連覇を飾った。敗れた秋田中央も1・2年生中心の若いチームながら一歩も引くことなく立ち向かい、決勝にふさわしい好ゲームであった。